

第4回安堵町総合計画・総合戦略推進委員会 会議録

日 時	令和3年10月5日（水）午後2時00分～午後3時5分
場 所	安堵町役場3階会議室
出席者	【安堵町総合計画・総合戦略推進委員会委員】9名 中山 徹（委員長）、福井 保夫（副委員長）、石田考志、野戸 久博、秋山 利隆、山崎 眞季、西本 安博、堀口 善友、辰己 秀雄（敬称略・順不同）
	【事務局関係職員】5名 総合政策課 富井、川畑、佐藤 株式会社ぎょうせい 今中、安井
配布資料	資料1 総合計画・総合戦略（案） 資料2 パブリックコメント実施概要（案）
会議次第	議 事 (1) 総合戦略（案）について (2) パブリックコメントの実施について (3) その他
会 議 概 要	
議 事	
(1) 総合戦略（案）について	
中山委員長	それでは議事（1）総合戦略（案）について、事務局から説明をお願いします。 ◆事務局より、資料1「総合計画・総合戦略（案）」を用いて概要説明があり、委員による検討が行われた。
中山委員長	委員の皆さまから、ご意見、ご質問等がありますか。
山崎委員	63ページに「ナモデ踊り」とある。現在、安堵町のかるたを作る取り組みを行っているが、そちらでは平仮名となっている。カタカナが正しいのか。
福井副委員長	わかりやすく平仮名ではどうか。またパンフレットを参考にするのはどうか。
西本委員	県の指定ではどうなっているのか。

山崎委員	ホームページでは平仮名で「なもで」とあった。正しい表記にすべき。
事務局	確認後、ご報告をさせていただきます。
山崎委員	67ページの「特定の人が支援の『支え手』となり、『受け手』となるのではなく・・・」という文章だと、一人の人が『支え手』となりまた『受け手』となるような捉え方になる。これは、限られた人が支える立場にも受ける立場にもなっているという風にとれる。特定の人が『支え手』となったり、特定の人が『受け手』にもなったりという意味かと思うが、この文章だと伝わりにくいと思う。
事務局	特定の人だけが『支え手』や『受け手』にならないようにとの意味合いでしたが、表現を考えます。
山崎委員	70ページの「障害は、手帳交付制度等により、(中略)一人ひとりの部位や程度が様々で、基準に満たないため、サービスを受けることができなかつたり・・・」と、手帳主義のため本当はサービス受けられるべき人も受けられないといった内容がいいが、その次に突然「差別・偏見を受けたりといったことが生じています」というのは、前後の文章が合わないと思う。どこかで区切るか接続詞がないと、手帳制度だから差別・偏見を受けるといった意味にとれる。
事務局	おっしゃる通りです。「サービスはサービス、一方違うところでは・・・」、という形に変更します。
山崎委員	85ページの「布設」という漢字だが、一般的に水道事業ではこの「布設」を使うが、今回は「敷設」になると思う。
事務局	おっしゃる通りです。
山崎委員	97ページの観光資源の記載について、先日安堵町から選出された小村奈良県議員が生駒郡の観光資源の中で安堵町について2つ、中家住宅と県の文化財である飽波神社を紹介されていた。飽波神社は入れないのか。
西本委員	飽波神社等、色々列挙するのはどうか。
事務局	検討します。
中山委員長	その他ご意見、ご質問等がありますか。

秋山委員	<p>29ページの「1 農業」の一番下の参照資料について、「世界農林業センサス」と書いてあるが、市町村のこういった統計で「世界」とつくものを見ない気がする。一般的には「農林業センサス」と書いているように思う。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
中山委員長	<p>その他ご意見、ご質問等がありますか。</p> <p>では私から。達成状況をみていくうえで必要になる「まちづくり指標」について何点かわかりにくいなと思う点を確認します。</p> <p>56ページの「まちづくり指標」2つ目の「維持」という記載は、これでもいいですが、統計方法として、他のページには数字が入っているのに、なぜここだけ数字ではなく「維持」とされたのですか。</p> <p>63ページの「まちづくり指標」下から2番目の「町指定文化財数（再掲）」については、後のページには出てきますが、これより前には記載がないのではと思います。</p> <p>72ページの「まちづくり指標」下から2番目の「新型コロナウイルスワクチン接種率 100%」は、希望者に対し100%というか、体質的に受けられない人、受けたくない人までいると思うが、説明が必要ではないでしょうか。</p>
西本委員	<p>希望者に対しての100%です。</p>
中山委員長	<p>77ページ「まちづくり指標」の中の「商工会加入会員数」について、町として商工会加入会員数を目標にするのであれば、町が勧誘するわけではないと思いますし、説明が必要なのではないでしょうか。</p> <p>85ページの「橋梁の法定点検実施件数」の令和2年度実績については、令和2年度単年度で検査数が23件であれば、5年間で71件だと目標が下がってしまう。これでいいのでしょうか。</p> <p>またその一番下の「公共交通が『不満』『やや不満』の住民の割合」は、これまで%で記載していたものが「減らす」となっています。88ページの指標2つ目の「公園が『不満』『やや不満』の住民の割合も同様です。</p> <p>90ページの2つ目の「自主防災組織結成率」は「100%」とある件は、1つでも欠けたら達成できないことになります。</p>
事務局	<p>「町指定文化財数（再掲）」の件については、全てに「再掲」としてあります。一般的には二回目の記載から「再掲」とするものですが、便宜上の理由でそのように記載しています。</p>
西本委員	<p>85ページの「橋梁の法定点検実施件数」は、5年間で71件の点検を行い、</p>

	そのうち初年度に23の点検を行ったという事か。
事務局	71橋が町内全ての橋梁の数のため、5年間で全て点検を行うといった内容です。
中山委員長	23の橋梁の点検が終わっているということですね。
西本委員	令和2年度実績というと、単年度と捉えられる。
中山委員長	西本委員の指摘のように、令和2年度までに、だとか、今点検したのは何%で最終的には100%、とされる方がわかりやすいかもしれません。誤解を招かない表現方法に変えていただくようにお願いします。
事務局	88ページ等の「減らす」という文言は、減らす数値を設定する形でさせていただきます。
西本委員	自主防災組織については12地区にそれぞれ自主防災組織を作ってもらおうという目的であり、「12地区」と書く方がわかりやすいのでは。
山崎委員	重点戦略の110ページ、防災のことが重点戦略に位置づけられていない。昨年は浸水被害はなかったが、その位置づけでいいのか。
事務局	111ページの「地域コミュニティ組織の組織力の強化」には自助共助といふところがあり、こちらに自主防災組織の支援という形で記載しました。
山崎委員	町として、公助をどうするのかというのを重点施策としていないのはいいのか。先日民生委員の会議で担当者と話したところ、自助が一番と言われ、不安に思った。公助でできない第一歩を自助ですることは当然だと思うが、施策として災害の多いこの時代、町としてこれだけのことをするから、まずは自助・共助を、とされるならわかるが、町として防災をどうするのかの方向がないような気がした。それまでのページには記載があるが、重点施策のところでは「お願いできたら」というようになっている。
事務局	最後のページに重点戦略と総合計画の関係図があり、右から2番目がまち・ひと・しごとの観点のものとなり、「15 生活安全対策」①～③が防災にあたるものですが、15番からは防犯について重点戦略でピックアップしているものです。まち・ひと・しごと、地域の活性化に主眼を置いたため、このような形になっています。

山崎委員	では防災は、町としてなくてもいいということか。
事務局	総合戦略自体が地方創生、経済等地域の活性化となる施策をメインとしています。そのため、そういった内容に比重を置いたような位置づけとさせていただいています。
西本委員	山崎委員がおっしゃっていることは、理屈はわかるがこの書き方では馴染まないのでは、ということ。防犯で一つの柱を立てているのなら、もう一つ防災という柱建てをするのか、もしくは防犯と防災をまとめるのはどうか。自主防災組織もこれからやっという話もある中、防災のみを文化交流の項目の中に入れるのはどうかと思う。
中山委員長	77ページの商工会の件については、どうでしょうか。
西本委員	商工会の活動は直接行政と関係するかと聞かれればどちらであるともいえ、町として商業の活性化を推進していく立場として商工会に目標を持ってもらいたいという意味合いでここに記載した。またこれから5年間のうちに8~10の企業立地の予定がある。資源のない場所は、商業活動を活性化していきたいという意味で記載したもの。
中山委員長	入れていると思いますが、商工会として目標はあるのか、それと矛盾していないか気になります。数字の乖離はない方がいい。
福井副委員長	会員数は、創業もあれば廃業もあり、実際には難しいのでは。
事務局	目標としては起業等の数値化をするためのものでしたが、数字に関してはもう一度商工会に確認します。

(2) パブリックコメントの実施について

中山委員長	<p>それでは議事(2)「パブリックコメントの実施」について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>◆事務局より、資料2「パブリックコメント実施概要(案)」を用いて概要が説明された。</p>
西本委員	<p>町税納税者とあるが、どこのパブリックコメントにもあるものか。</p>
事務局	<p>参考にした他の自治体も想定しているようで記載がありました。</p>
西本委員	<p>納税しているかといった個人情報はどこで確認するのか。</p>
事務局	<p>想定していたのは町民、町内の物件を持っている町外の方等です。税務課に確認することを考えています。</p>
西本委員	<p>個人情報閲覧の同意を得ていないのに、どうやって確認していくか。このように記載したらそんな意見が出るかもしれない。</p>
事務局	<p>確認させていただきます。難しいとなった場合は、文言を修正します。</p>
西本委員	<p>例えば「安堵町に関係のある人」といった表現はどうか。</p>
事務局	<p>再度確認させていただきます。</p>
山崎委員	<p>安堵町を良くするための意見であれば「安堵町に関心のある方」と書いて、集まった意見に従わなくてはいけないわけではないし、幅広く意見を取り入れていくのはどうか。</p>
西本委員	<p>関係人口であれば「興味のある人」になる。例えばふるさと納税の納税者もいる中で、今の書き方ではそういった人は当てはまらなくなる。「安堵町の関係人口」、「関係者」というようにし、取り入れられる意見を残していけばいいと思う。</p>
事務局	<p>早急に対応します。</p>
中山委員長	<p>できるだけ広く意見を募るよう考えていただくということをお願いします。</p>

(3) その他

◆事務局より、第5回推進委員会は11月26日(金)午後1時30分から開催予定であること、パブリックコメントの実施状況によっては資料配布のみで委員会開催はないことが伝えられた。

中山委員長

パブリックコメントを実施して内容に変更が必要な場合は集まってもらい、文言の修正程度であれば会議はしないということでしょうか。

事務局

大きな変更がなければ、委員長からの答申のみとさせていただきたいと思っています。

中山委員長

では大きな変更がなければ今回の内容が最終案となり、この審議会は今日で終わり、あとは答申を町長に渡すこととなります。事務局は会議の開催は早めに判断をしていただいて、各自に連絡をお願いします。

委員の皆さま、事務局から、全体を通じてご意見、ご質問等がございますか。なければ、本日の議事はすべて終了です。

事務局

計画策定の令和4年からの実施のあとの進捗状況については、任期の中で審議いただきますよう今後ともよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。